

栗東市公共下水道事業経営戦略の進捗管理について

公共下水道事業の経営基盤を強化するため策定した「栗東市公共下水道事業経営戦略」の進捗管理を報告します。

投資・財政計画について実績値との乖離検証を行い、経営戦略を推進します。

令和3年度 投資・財政計画比較(計画・実績)

単位:千円

◆収益的収支

	計 画	実 績	比較増減 (実績－計画)
営業収益 (A)	1,107,515	1,184,184	76,669
営業外収益 (B)	565,381	460,856	△ 104,525
収入計(A)＋(B)＝(C)	1,672,896	1,645,040	△ 27,856
営業費用	1,317,794	1,322,943	5,149
営業外費用	225,250	197,433	△ 27,817
支出計 (D)	1,543,044	1,520,376	△ 22,668
経常損益(C)－(D)＝(E)	129,852	124,664	△ 5,188
特別利益 (F)	0	87,300	87,300
特別損失 (G)	0	0	0
特別損益(F)－(G)＝(H)	0	87,300	87,300
当年度純利益(E)＋(H)	129,852	211,964	82,112

◆資本的収支

	計 画	実 績	比較増減 (実績－計画)
収入計 (A)	1,079,625	941,361	△ 138,264
財源充当額 (B)	0	55,100	55,100
純計(A)－(B)＝(C)	1,079,625	886,261	△ 193,364
支出計 (D)	1,839,413	1,652,300	△ 187,113
不足額(D)－(C)＝(E)	759,788	766,039	6,251
企業債残高	14,716,497	14,558,760	△ 157,737
資金残高	739,955	1,030,345	290,390

資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填

※表示単位の端数処理の関係上、計画数値と一致しない場合があります。

公共下水道事業

目標指標の達成状況

◆投資目標

項目	R1	R2	R3	目標	
				R5	R10
管渠改善率(%) 1年間に改築更新管渠延長が、総管渠延長に占める割合を示したものの、1年間にどれだけ管渠の老朽化対策を実施したかを見る指標。 改善(更新・改良・修繕)管渠延長÷下水道維持管理延長×100	0.0	0.0	0.0	0.5	1.0

◆財政目標

項目	R1	R2	R3	目標	
				R5	R10
使用料水準・使用料体系の見直し	—	—	—	—	検討実施
経費回収率(%) 汚水処理に要した費用に対する、使用料による回収程度を示す指標。 汚水処理に係る全ての費用を使用料によって賄うことが原則。 下水道使用料÷汚水処理費用(公費負担分除く)×100	91.2	89.6	96.7	88.0	92.0
経常収支比率(%) 料金収入、一般会計繰入金等の収益で経常的な費用がどの程度賄われているかを示す指標。 経常収益÷経常費用×100	107.2	112.2	108.2	100%以上	100%以上
事業収益対企業債残高比率(%) 事業収益に対する企業債残高の割合で、企業債残高の規模を表す指標。 企業債現在高合計÷(営業収益－受託工事収益－雨水処理負担金＋他会計補助金)×100	1248.1	1139.3	1,146.7	1081.2	890.9